

市立札幌病院 外科 に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除における技術認定医介入の有用性に関する検討

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 北海道大学病院 消化器外科 I 武富紹信

【研究代表機関名・研究代表者名・所属】 北海道大学病院 消化器外科 I 武富紹信

【共同研究機関名・研究責任者名】

北海道大学病院 消化器外科 I 武富紹信

旭川厚生病院 外科 赤羽 弘充

帯広協会病院 外科 阿部厚憲

釧路ろうさい病院 外科 小笠原和宏

KKR 札幌医療センター 外科 小池雅彦

札幌厚生病院 外科 石津寛之

札幌市立病院 外科 三澤一仁

JCHO 北海道病院 外科 数井啓蔵

砂川市立病院 外科 田口宏一

苫小牧市立病院 外科 松岡伸一

北海道がんセンター 外科 濱田朋倫

【研究の目的】

内視鏡外科技術認定医介入による腹腔鏡下大腸切除の手技的腫瘍学的安全性を検討し、その有用性を示す事を目的とする。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2010年1月1日から2013年12月31日までの間に大腸癌に対し腹腔鏡下切除を行った方

○利用する検体・カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、ASA、既往症、生活歴、腫瘍部位、術前ステージ、T因子、N因子、術前治療（ESD、イレウス管、ストマなど）、手術時間、出血量、

2018年9月1日

術中偶発症、開腹移行、リンパ節郭清度、IMA 温存、脾湾曲受動、吻合方法、術後全合併症とグレード、術後飲水食事開始日、術後入院期間、術者助手の認定取得有無、認定取得時年齢、他領域での認定取得かどうか、取得後年数、腫瘍最大径、組織型、病理学的ステージ、T 因子、N 因子、ly 因子、v 因子、リンパ節採取個数、PM、DM、RM、R0、術後補助療法種類期間、転機、最終確認日、再発確認日

[研究実施期間]

実施許可日～2020年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 11 条西 13 丁目

市立札幌病院 担当医師 大島 隆宏

電話 011-726-2211

FAX 011-726-9541